

浜松市中区の静岡文化芸術大で4日夜、特別開講座「ロウソク能」(静岡新聞社・静岡放送後援)が開かれました。市民や学生ら約300人が能や狂言の莊厳な世界を味わつた。

講堂の舞台で上演された能は、菟名日処女(うないおとめ)といふ美しい少女が2人の男に愛されたために入水自殺した経緯と死後の苦しみを語る「求塚(もとめづか)」。ロウソクを模した明かりの中、能楽師でもある同大文化政策学部芸術文化学科の梅若猶彦教授らが幽玄な舞を披露した。

同講座は学生が文化イベントのマネジメントを学ぶ目的で毎年開催している。

ロウソク能 莊厳な世界 静岡文化芸術大特別公開講座



市民らが莊厳な世界を味わった「ロウソク能」
=4日、浜松市中区の静岡文化芸術大

